

学生が21世紀社会の中で生きていくために、大学教育はどうあるべきか。その答えを追い求めたのが玉川大学の教育だと話すのは、玉川大学教学部長の菊池重雄教授。「現在の大学教育では専門

知識だけでなく、どんな時代や社会にも対応できる『汎用的な能力』の開発が求められています。そのため玉川大学では、授業内

容や方法、履修システムまでを抜本的に改革。ディスカッションや発表形式の授業を1年次から豊富に設け、コミュニケーション・スキルや論理的思考力な

## 21世紀社会を 生きる力を開発する

菊池 重雄

玉川大学 教学部長・教授

どの汎用的能力を育成。また、履修単位の上限を設け、自己学習の時間の確保や、卒業に必要な成績ラインを明確化し、卒業生の質を社会に証明する取り組みも行っています。個人の幸福が社会の



発展と切り離せない、グローバル化された現代社会を生きるために、社会が求める力を学生に身につけさせる。それが、玉川大

学が追い求める新たな教育の形です」。

続きはwebで... [www.tamagawa.jp](http://www.tamagawa.jp)

東京都町田市玉川学園6-1-1 電話 042-739-8710 小田急線玉川学園前駅下車

# 玉川大学